

釧路南ロータリークラブ会報

第15回 例会報告 2012.10.19 通算1463回

・会長挨拶



こんにちは。今日は職場訪問例会、移動例会という事でここ、「まなぼっと」にお集まりいただき有難うございます。私自身、この場で食事をするのは初めてですが、食事も美味しく、見晴らしも最高な場所なので今度夜間例会にでも使えればなあと思っていた所です。最近、新入会員が数名入会したせいか例会の出席率が素晴らしく良くて嬉しく思っております。まだ数名の入会が期待できそうですので非常に楽しみにしておるところです。今日はこの後、あそこに見えます「巡視船えりも」の見学という事になっています、私にとって非常に親しみやすい名前です。逆さまから読むと「もりえ」となっている訳ですから・・・(笑) 近くに行くと船体を見上げて「もりえ」と言わないよう注意してください。今日は風がかなり強くなってきています。風邪を引かぬよう暖かい恰好で見学して参りましょう。

・幹事報告

次週合せて報告します。



・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

佐藤 了会員 8年ぶりにゴールド免許証が戻って来ました。



出席委員会

会員23名 16名出席 出席率69.5%



集合・昼食 まなぼっと9階「まいずる」

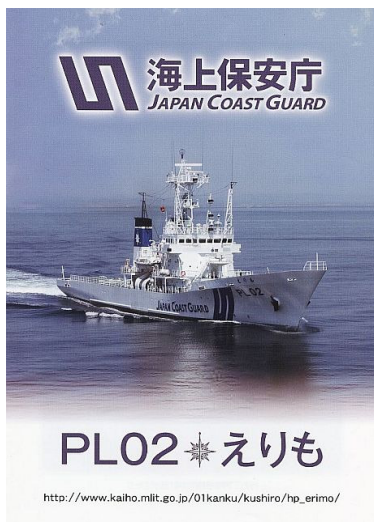
・本日のプログラム

「職場訪問例会」移動例会

担当 木内治彦職業奉仕委員長

巡視船「えりも」型				
総トン数:993t	全長:87.0m	最大幅:10.5m	深さ:5.5m	船質:鋼
満載排水量:1500t				
主機:ディーゼル2基、2軸	出力:7000馬力	速力:20kt	最大搭載人員:39名	
兵装:20ミリ多銃身機銃1基	航続距離:4400浬			
解説:「おき型」の改良型である本型は救難強化型と呼ばれるタイプである。「おき型」との相違点は船首のシアが幾分小さく、ヘリ甲板は船体の強度甲板と面一としてフラットな船体となっている。そして煙突も並列の2本煙突となり、その間には潜水作業機材の準備室となっている。 装備自体は「おき型」とあまり変わらないが、タンカー事故による油の流出に対応できるように油回収装置の運用能力の付加が各船に逐次付与されている。 公称船型は1000トン型				

巡視船「えりも」資料



いよいよ巡視船「えりも」へ乗船



巡視船えりもへようこそ

本船は第一管区海上保安本部釧路海上保安部に所属し、主に北海道の東方海域における警備救難業務等海上の安全に関する任務に当たっています。

本船は、救難強化巡視船として特殊な海難に対応するための各種資器材を充実させているほか、映画・ドラマ「海猿」でおなじみの潜水士が乗組んでいるのが特徴です。

通常は釧路を基地に活動していますが、東日本大震災の対応では東北地方沿岸部における行方不明者の捜索等にも出動しています。

本日のご乗船を機会に巡視船業務の一部をご覧いただき、海上保安庁の仕事と海への理解を更に深めていただければ幸いです。



行方不明者を捜索中の潜水士たち



Japan Coast Guard Association

日本沿岸警備



海上保安庁第1管区・海上保安部・釧路海上保安部長・遠藤和幸氏よりご挨拶・艦内会議

領海・EEZを守る



尖閣諸島周辺海域を「はいはい」する中国漁業監視船（写真裏）を監視警戒中の巡視船（写真手前）

海上保安庁の領海警備

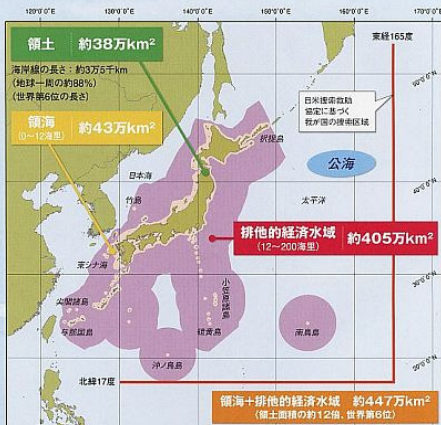
海上保安庁では、我が国の領海における主権を確保するとともに海洋権益の保全のために、周年、昼夜を問わず国際法等に則り、領海警備や監視警戒活動を実施しています。

尖閣諸島や竹島、北方四島 周辺海域における監視・警戒

生命を救う



愛します! 守ります! 日本の海



我が国の領土面積（約38万km²）は世界で第61位にすぎませんが、領海及び排他的経済水域の面積は領土面積の約12倍（約447万km²）で世界第6位と拡大で、海岸線の長さも世界第6位です。広大な海で囲まれた海洋国家である我が国は、諸島や漁業により恵みを受ける一方、海賊や密輸・密航といった海上犯罪、そして領土や海洋資源の帰属について国家間の主権主張の場となるなど、海上において様々な事象が発生しています。海上保安庁は、昭和23年5月に発足し、以来、国民が安心して海を利用し様々な恩恵を享受できるよう、関係国との連携・協力関係の強化を図りつつ、海上における犯罪の取締り、領海警備、海難救助、環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全等の活動に日夜従事しています。



巡視船「えりも」上野純司船長

銚路海保 巡視船「そうや」「えりも」

銚路海上保安部所属の巡視船に今月から3人の女性海上保安官が勤務している。巡視船「そうや」(3100)、野田政宏船長の機関士補、小山内佑希さん(22)と巡視船「えりも」(1800)、上野伸司船長の機関士補、武田真さん(20)、航海士補の成田千波さん(18)。3人は「海の安全を守る仕事に早く責任と自覚を持ちたい」と日々の業務に奮闘中だ。(真貝恒平)

三人娘奮闘中



それぞれの目標に向かって歩み始めた武田さん、小山内さん、成田さん(右から)

3人は海上保安官を志望する海上保安学校(京都府舞鶴市)を9月に卒業。毎年、4月10日に新卒配属となるが、船務経験は新人3人が、船内出身で、札幌の大手さくら女性で、巡視船船務となった。同僚は「早く責任と自覚を持ちたい」と日々の業務に奮闘中だ。

船務の専門学校を経て「保安官の仕事に就きたい」と思い、捜索や人命救助など幅広い業務をこなす海上保安官の道を選んだ。最少の成田さんは船内出身。小さいころに巡視船に乗り、海上保安官に憧れを抱き、夢を実現させるために奮闘中だ。

「海の安全へ責任と自覚を」

武田さん(右)は、9月末に官報で発生した漁船の転覆事故で、第2管区の応援船を受けついでりもが出発した。船務に配属された乗組員の各役で、生死と隣り合わせの業務に改めて実感したという。

海上保安官として歩み始めてまだ週間。興味のある業務がとてつもないので、できる限り経験したい。(小山内さん)、「海上の担当事務の証書は、海上の担当事務を担った」と、武田さん。成長できたらと頑張りたい。(成田さん)と、それぞれの目標も生かされた。

銚路海保では、今年4月現在、全国海上保安官は約1万7000人。そのうち女性性は60人で全体の4.7%ほどだが、別は男女揃っているという。同僚では「女性の海上保安官として活躍の場を広げてほしい」と、3人の奮闘に期待を寄せている。

◆森江会長謝辞

本日はご公務で大変お忙しい中、我々銚路南ロータリークラブ会員の為に時間を割いて頂き、見学させて頂いた事に大変有難く、感謝申し上げます。本当にご丁寧な説明を聞きながら楽しく過ごさせて頂き、貴重な体験をすることができました。今日は強風の為、外の部分をゆっくりと見学することができませんでしたが、またの機会に拝見できればなあと思っております。また、最近、日本近海において中国情勢、韓国情勢が不安定といいますが、危険な感じのする今日この頃です。どうか乗務されている皆様に於かれましては、お体に十分留意され海の安全を守って頂けたらなあとと思います。本日は本当に有難うございました。

(艦内会議室が狭く会長の写真が撮れませんでした)



巡視船「えりも」前で集合写真

海上保安官を募集
海上保安官は巡視船艇、航空基地などで勤務する海上保安官を募集する。採用は「航海」「機関」「通信」「技術」「飛行」「整備」で、いずれも関係する免許や資格を持つ人が対象。募集は11月7日まで。採用日は来年7月1日の予定。受験資格は「航海」「機関」から5級海技士(航海・機関)以上の免許保有者。機関は内燃機関の限定を含む。

「通信・技術」は高卒以上で第1級、第2級総合無線通信士の免許保有者。または第1級、第2級海上無線通信士の免許保有者で第1級、第2級陸上無線技術士の免許を持つ人。

「飛行」は高卒以上で、国土交通大臣が交付した飛行機やヘリの事業用操縦士資格以上の技能証明を持ち、第1種航空身体検査証明書を持つ人。「整備」は同じく同大臣交付の飛行機やヘリの2等航空整備士(旧:等航空整備士を含む)資格以上の技能証明を持つ人。

いずれも1954年4月2日以降に生まれ、1次試験は11月25日に銚路、函館、小樽の3市で行われる。問い合わせは同庁ホームページ <http://www.kaihomin.tokai.go.jp/> または銚路海保管理課0154(2)0118へ。



◆ 次回のプログラム

10月26日(金)
「新入会員歓迎会」
会場 銚路東急イン

担当: 新睦活動委員会
今週の会報担当: 佐藤了会員